



機器の説明（参考）

～ ① GPS機器とは～

ランドセルやカバンに入れておくだけで、スマホの専用アプリから、子どもの現在地や移動履歴を確認できる小型の機械です。

月額数百円の通信利用料で利用でき、現在地や移動履歴を確認できるだけでなく、エリア通知やSOSボタン機能など、さまざまな機能があり、通学や習い事で子どもが出歩く際、防犯対策として、広く活用されているものです。

～ ② 位置情報確認機器等とは～

スマホと連携させて持ち物の位置を特定する小型機器です。財布や鍵などに取り付けておき、置き忘れや紛失をした際にスマホのアプリから場所をマップ上に表示したり、音を鳴らして見つけ出したりできるものです。

～ ①と②のちがい～

GPS機器と位置情報確認機器等（スマートタグ系）のちがいは「位置情報の通信方法」です。GPS機器は、人工衛星からの正確かつリアルタイムな現在地をスマホから確認できます。

一方、位置情報確認機器等（スマートタグ系）は、近くにあるスマホが位置情報確認機器から発信される微弱な電波（Bluetoothなど）を感知し、登録しているスマホへ届ける仕組みとなっています。

機器の説明 （参考）

①.GPS機器



- ◎ 個を追跡できる（機器完結型）
 - GPS衛星 + 独自通信

★ 強み

- ・リアルタイム位置把握が可能
- ・精度が安定
- ・エリア依存が低い

× 弱み

- ・ランニングコスト（月数百円～）
- ・充電が頻度多（週1回）
- ・屋内・地下・遮蔽物に弱い

②.位置情報確認機器等 （スマートタグ系）



- ◎ 群衆のチカラ（ネットワーク共生型）
 - クラウドソーシング型
 - ※ 周囲のスマートフォンを経由して位置を把握

★ 強み

- ・本体価格が安い（数千円～）
- ・通信費がかからない
- ・都市部では精度が高い（周囲にスマホが多いため）

× 弱み

- ・リアルタイム性が不安定
- ・通知の遅れがあり
- ・Android系スマホが弱い（使用者数の関係）